

S E 構法・施工品質管理表

(構造検査報告書用)

S E 構法の施工における構造検査報告は以下の品質管理表によっておこなってください。

(1) S E 構法・施工品質管理表リスト

No.	管理表名称検査	提出	チェック	指示確認事項	確認
1	建築確認済証の写し	要		住所・面積の確認用 1 部提出	
2	S E 構法構造検査報告書－Ⅰ	要		1 部提出	
3	施工写真シート・Ⅰ－①	要		1 部提出	
4	施工写真シート・Ⅰ－②	要		1 部提出	
5	施工写真シート・Ⅰ－③	要		1 部提出	
6	施工写真シート・Ⅰ－④	要		1 部提出	
7	施工写真シート・Ⅰ－⑤	要		1 部提出	
8	施工写真シート・Ⅰ－⑥	要		1 部提出	
9	S E 構法構造検査報告書－Ⅱ	要 ※ 1		1 部提出	
10	施工写真シート・Ⅱ－①	要 ※ 1		1 部提出	

※ 1 : S E—D S パネルを使用した場合のみ

記入の方法（詳細は S E 構法性能報告書サンプルを参照してください。）

- 工事名、検査日、登録施工店名等の項目はしっかりと記入して下さい。
- 施工写真は必ず日付、邸名、検査箇所を記入した黒板等を入れて確認しやすい写真として下さい。
- 該当事項の確認は全箇所おこなって下さい。
- 該当事項の有無の欄に、○で囲って下さい。
- 該当事項のチェック欄に、レ点でチェックして下さい。
- 該当事項の可否の欄に、○で囲って下さい。不合格・未処理の場合には、速やかに処置をして検査したうえ再度可否の欄に、○で囲って下さい。
- S E 構法施工管理技士の検印を必ずして下さい。

提出期限等

- すべての構造検査完了後、14 日以内に(株)NCN 品質管理課へ提出して下さい。
- 各提出書類は[正、1 部]を提出して下さい。
- (株)NCN 確認の上、合格の場合は性能報告書として作成し[正、1 部]を返却いたします。
(その際、(株)NCN で複製をデータ保存させていただきます)

➢ 不合格、不備の場合あるいは提出期限内に提出されない場合は性能報告書を発行できない場合があります。

※各様式は、S E 構法のホームページ（登録施工店専用ページ）からダウンロードしてご使用下さい。

(2) S E 構法構造検査報告書記入方法

- 検査は必ず S E 構法施工管理技士が直接行うこと。
- 検査項目別に検査し、チェック・可否及び日付を記入する。
- 該当しない項目は斜線を記入する。

(3) 記録写真

○ 必ず日付・邸名・撮影ヶ所を記入した黒板等を入れた写真であること。

施工写真シート	記録個所	枚数、他	備考（その他写真貼付け欄に記載）
I-①	躯体全景	1 枚	上棟後または耐力壁施工直後の全景とする。
	基礎配筋の全景	1 枚	※自社による基礎計算の場合でも添付すること。（全体が確認できること）
I-②	アンカーボルト （柱脚用・土台用）	1 枚	※自社による基礎計算の場合でも添付すること。（仕様が確認できること）
	SE 構法に使用した釘	1 枚	指定釘の種類がわかること。
I-③	柱脚部の緊結	主だった柱脚部：1 枚	アンカーボルトの緊結状況（ハイブリットナット締付）を確認できること。
	垂木の固定状況	1 枚	垂木の固定状況が確認できること。
I-④	床合板敷込み（一般部）	1 枚	2・3 階の床敷込み状況が確認できること。
	床合板敷込み（補強部）	1 枚	
I-⑤	一般耐力壁の全景	GT1 (W) / GT2 (W) / GP1 (W) / GP2 (W) GP6 (W) / GP7 (W) / MP1 (W) / MP2 (W) DP1 (W) / DP2 (W) / DP6 (W) / DP7 (W) いずれか 1 種類：1 枚	一般・高耐力壁別に添付する。
	高耐力壁の全景	GT3 (W) / GT4 (W) / GP3 (W) / GP4 (W) GP8 (W) / GP9 (W) / MP3 (W) DP3 (W) / DP4 (W) / DP8 (W) / DP9 (W) いずれか 1 種類：1 枚	
I-⑥	耐力壁の下地枠	1 枚	合板下地枠組みが確認できること。
	予備		
II	SE-DS パネルの全景	1 枚	SE-DS パネルを使用した場合のみ。
II-①	SE-DS パネルの気密	気密シールの施工：1 枚	指定の仕様、施工であること。
	SE-DS パネルの釘	使用した釘：1 枚	

SE構法 構造検査報告書-I

作成日 H.25年 11月 25日

物件No.	NCN333	工事名	浜崎 和男 様 邸	(新 築)	工事
上 棟 日	H. 25 年 11 月 7 日				
登録店 No.	301	登録 施工店名	(株)鈴木建設		
管理技士No.	451	SE構法 施工管理技士名	片岡 太郎	印	印

○ 建物概要のチェック

■地盤調査	有	・	無	備考：(地盤改良・基礎補強等の内訳) 基礎補強工事 PCパイロφ200による杭打ち補強 L=5m×25本
■地耐力の確認	有	・	無	
■地盤改良工事	有	・	無	
■基礎補強工事 (杭打ち、基礎拡幅等)	有	・	無	

○ SE金物・床合板のチェック

項目	柱脚(PB・PX) 金物の通り、 レベルの確認	柱脚アンカー ボルト締付 (ハイリット ナット)	土台アンカー ボルト締付	F・J 他、 SE金物 ボルト締付、 ビス留付	F・J 他、 SE金物 ドリフトピン 打込	床合板 t=24、28、30		検 査 日 (月/日)		
						敷込 (千鳥)	釘ピッチ (CN75) @150 @75	第1回	第2回	第3回
基礎・土台	✓	✓	✓	—	—	—	—	合・否	合・否	合・否
1 F	—	—	—	✓	✓	—	—	合・否	合・否	合・否
2 F	—	—	—	✓	✓	✓	✓	合・否	合・否	合・否
3 F	—	—	—	—	—	—	—	合・否	合・否	合・否
小屋/PH	—	—	—	✓	✓	—	—	合・否	合・否	合・否

○ 耐力壁・釘 (CN50) のピッチチェック

一般耐力壁				高耐力壁				検 査 日 (月/日)		
外周 @150		外周 @100		外周 @75		外周 @50		第1回	第2回	第3回
中央 @150								11/22	/	/
構造用合板特類1級厚9mm								合 否	合・否	合・否
GT1	GT1W	GT2	GT2W	GT3	GT3W	GT4	GT4W			
		✓				✓	✓			
構造用合板特類2級厚12mm・OSB3級厚12mm / OSB4級厚9mm								合・否	合・否	合・否
GP6／GP1	GP6W／GP1W	GP7／GP2	GP7W／GP2W	GP8／GP3	GP8W／GP3W	GP9／GP4	GP9W／GP4W			
モイス 厚9.5mm								合・否	合・否	合・否
MP1	MP1W	MP2	MP2W	MP3	MP3W					
ダイライト 厚9mm / ダイライト 厚12mm								合 否	合・否	合・否
DP1／DP6	DP1W／DP6W	DP2／DP7	DP2W／DP7W	DP3／DP8	DP3W／DP8W	DP4／DP9	DP4W／DP9W			
						✓				

○ 屋根・垂木構面のチェック

項 目	垂 木					野地合板		検 査 日 (月/日)		
	垂木寸法 確認	間隔 @500以内	固定方法		転び止め	合板厚確認	釘ピッチ	第1回	第2回	第3回
構面仕様			釘	タルキビス				11/11	/	/
合板張り仕様	—	—	—	—	—	—	—	合・否	合・否	合・否
登り梁仕様 斜め釘打ち仕様	—	—	—	—	—	—	—	合・否	合・否	合・否
転び止め仕様	—	—	—	—	—	—	—	合・否	合・否	合・否
タルキビス仕様	✓	✓	—	✓	—	✓	✓	合・否	合・否	合・否

床・屋根水平構面仕様図面に選択されている仕様の欄にチェック

SE構法
施工写真シート・I-①

工事名

浜崎 和男 様 邸（新 築） 工事

<躯体全景>

上棟完了が確認できる写真



撮影日

H25・11・25

撮影ヶ所

躯体全景

西面より

撮影面の記入

<基礎配筋の全景>

基礎配筋の完了が確認できる写真



撮影日

H25・10・7

撮影ヶ所

基礎配筋全景

南面より

撮影面の記入

SE構法
施工写真シート・I-②

工事名 浜崎 和男 様 邸（新 築） 工事

<アンカーボルト> 柱脚用M20 / 土台用M12

柱脚・土台用アンカーボルトの全景が確認できる写真

撮影日

H25・9・26



柱脚用アンカーボルト

M20 L=580

アンカーベースセット

土台用アンカーボルト

M12 L=400

L型フック

径・長さの記入

<SE構法に使用した釘> CN50（緑色）・CN75（青色）・CN90（赤色）等

使用釘が確認できる写真

撮影日

H25・11・8



使用釘

CN90 桧材・受材

CN75 桧材・床合板

CN50 耐力壁

使用箇所の記入

SE構法
施工写真シート・I-③

工事名 浜崎 和男 様 邸（新 築） 工事

＜柱脚部の緊結＞

ハイブリッドナットの締付状況が確認できる写真



撮影日 H25・11・5

撮影ヶ所 い 通り 1 通り

ハイブリットナット締付

＜垂木の固定状況＞

垂木の固定状況・ピッチが確認できる写真



撮影日 H25・11・22

撮影ヶ所 通り 通り

垂木 45×60

垂木ピッチ @455

タルキビス L130

垂木寸法・ピッチ・固定部材の記入

SE構法 施工写真シート・I-④

工事名

浜崎 和男 様 邸（新 築）

工事

<床合板の敷き込み> 一般部@150

合板の敷込状況・ピッチ@150が確認できる写真



撮影日

H25・11・8

撮影ヶ所

2 階

は 通り 2~3 通り

28mm合板、千鳥貼り

釘ピッチ (CN75)

一般部 @150

合板厚・釘ピッチの記入

<床合板の敷き込み> 補強部@75

合板の敷込状況・釘ピッチ@75が確認できる写真



撮影日

H25・11・8

撮影ヶ所

2 階

り 通り 5~6 通り

28mm合板、千鳥貼り

釘ピッチ (CN75)

補強部 @75

合板厚・釘ピッチの記入

※2階以上の床を撮影のこと

SE 構 法 施工写真シート・I-⑤

工事名

浜崎 和男 様 邸（新 築）

工事

<一般耐力壁の全景> 外周釘@150 / 外周釘@100

釘ピッチ@150・@100が確認できる写真



撮影日

H25・11・22

撮影ヶ所

1 階

る～を 通り 1 通り

一般耐力壁：GT 2

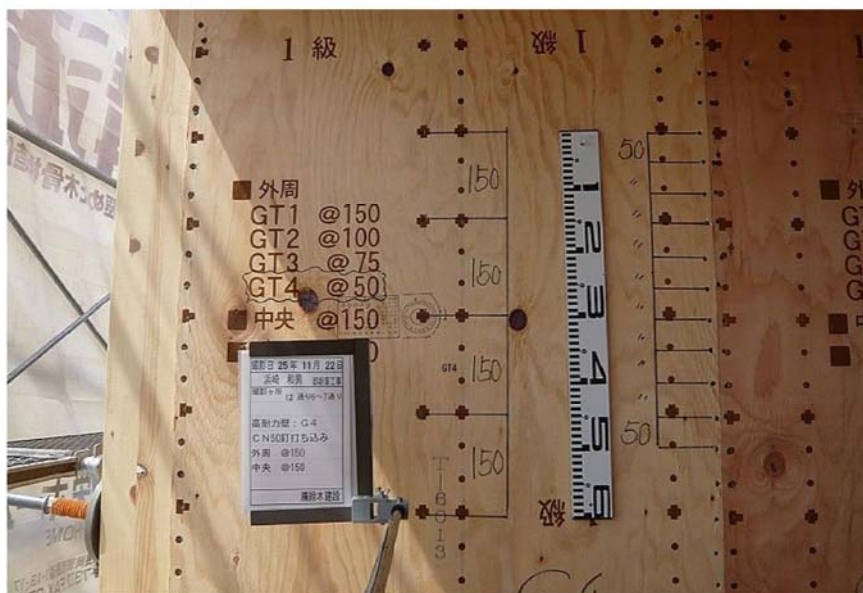
C N50 釘打ち込み

外周 @100

中央 @150

<高耐力壁の全景> 外周釘@75 / 外周釘@50

釘ピッチ@75・@50が確認できる写真



撮影日

H25・11・22

撮影ヶ所

2 階

は 通り 6～7 通り

高耐力壁：GT 4

C N50 釘打ち込み

外周 @50

中央 @150

SE構法
施工写真シート・I-⑥

工事名 浜崎 和男 様 邸 （新 築） 工事

＜耐力壁の下地枠＞

耐力壁のジョイント部・下地材・固定状況が確認できる写真



撮影日
H25・11・20

撮影ヶ所
2 階

と 通り 5～7 通り

高耐力壁：GT3

間柱 30×90以上

支持釘CN75

縦材 @150千鳥打ち

横材 @100千鳥打ち

継目間柱 45×90以上

枠材寸法の記入

< >

写真貼付欄

（予備の写真添付欄）

撮影日
.

撮影ヶ所
階

通り 通り

SE 構 法 構造検査報告書（上棟時）-Ⅱ

工事名

浜崎 和男 様 邸（新 築）

工事

○ SE-DSパネルのチェック

ヶ所	項目 ジョイント部の釘 CN65の打ち付け (両面) (図1)	気密シール剤の施 工確認 (図1)	専用ビスの取り付 け確認 (図2)	スペーサー材の施 工確認 (図2)	検 査 日 (月/日)		
					第1回	第2回	第3回
					11/8	/	/
屋根 1	✓	✓	✓	✓	合・否	合・否	合・否
屋根 2					合・否	合・否	合・否
					合・否	合・否	合・否

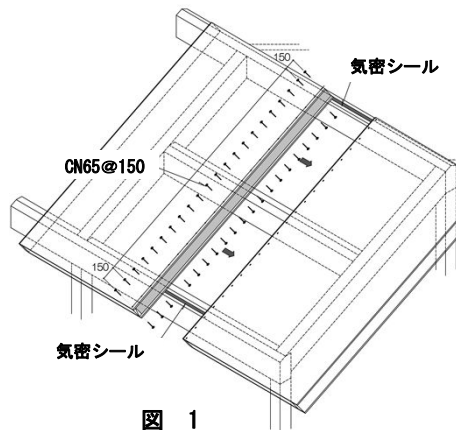


図 1

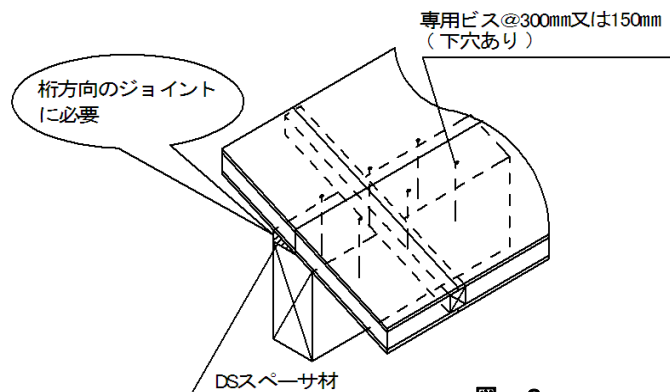


図 2

<SE-DSパネルの全景>

SE-DSパネルの敷込状況が確認できる写真



撮影日

H25・11・8

撮影ヶ所

通り

通り

SE-DSパネル全景

南面より

撮影面の記入

SE構法
施工写真(DS施工時)シートⅡ-①

工事名

浜崎 和男 様 邸 (新 築)

工事

<SE-DSパネル気密シール材の施工>

気密シールの施工が確認できる写真



撮影日

H25・11・8

撮影ヶ所

3 通り

気密シールの施工

<SE-DSパネルジョイント部分釘の施工>

釘ピッチ@150・CN65が確認できる写真



撮影日

H25・11・8

撮影ヶ所

通り 通り

SE-DSパネル使用釘

CN65 @150

パネル両面より打ち付け

